

今日のキーワード ドイツは「難民」対策で財政拡大へ（欧州）

「難民」は、民族紛争や迫害などで、自らの居住国・地域を離れざるを得ない人々のことを言います。2015年に欧州連合（EU）に「難民」申請した人は約100万人と、前年比約78%増えました。そのうち、30万人強が、内戦が激化したシリアからの「難民」で、また、ドイツへの申請者は約44万人と全体の半数近くを占めました。ドイツは2015年の財政黒字を「難民」対策に使う方針を決めました。

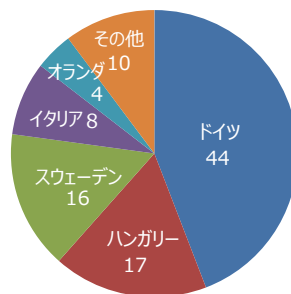
ポイント1 一部の国は、財政負担が重荷 EU各国の受け入れの分担は進まず

- EUは昨年9月の欧州首脳会議で、受け入れる16万人の「難民」の分担を決定しました。しかし12月時点で実際に受け入れ国が決まったのは232人にとどまり、対策の実行が進んでいません。
- 「難民」対策が進まない主な理由は、財政負担と見られます。中東欧の一部の国にとっては、「難民」受け入れに伴う、住居、食料、医療、教育などの支援に伴う財政負担が大きく、国民の理解が得られないようです。経済的理由から「難民」を装う経済「難民」との見分けがつきにくいことも背景です。

ポイント2 「難民」の流入抑制へ シリアの和平交渉は難航

- EUは受け入れた「難民」の各国への分担を割り当てる一方、「難民」の流入抑制にも動いています。シリアからの「難民」の流入を抑制するため、避難してきた「難民」の出国抑制を隣国トルコに要請しました。また、欧州警備隊を創設し、国境管理を強化することを検討しています。
- シリア「難民」問題の根本的な解決は内戦の停戦です。しかし、国連の仲介による和平交渉が1月29日に開始されたものの、交渉は3日に中断しました。和平交渉の進展には時間を要すると見られます。

EUへの難民申請者とその内訳



（注）データは2015年。単位は万人。EU合計では約100万人。
四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。
（出所）欧州統計局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 ドイツは財政を拡大し、「難民」支援継続へ

■ドイツは、財政黒字の活用へ

欧州最大の「難民」受け入れ国であるドイツのメルケル首相は、昨年後半に支持率が急落したこともあり、国境管理の強化へ方針を転換しました。しかし、同首相は、「難民」受け入れに寛容な姿勢を継続し、2015年の約121億ユーロ（約1.6兆円）の財政黒字を「難民」対策に使う方針を決めました。

■「難民」受け入れは中期的にはプラス面も

「難民」の受け入れは、財政負担が増すものの、中期的には生産力の増加につながり、経済成長にプラスとなる面もあります。スウェーデンなども「難民」関連の財政支出の拡大を決めており、今後高齢化が進む欧州では、財政に余裕のある国を中心に、「難民」支援の財政拡大の動きが見込まれます。

ここも チェック！

2016年1月8日 最近の指標から見る欧州経済（2016年1月）
2016年1月7日 「英国のEU離脱（Brexit）」（欧州）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。